

- A I 戦略では、「人間尊重」、「多様性」、「持続可能」の3つの理念のもと、Society 5.0の実現を通じて世界規模の課題の解決に貢献し、我が国の社会課題の克服や産業競争力の向上を目指す。
- 具体的には、大規模災害等の**差し迫った危機への対処**のほか、特に、**社会実装の充実に向けて新たな目標を設定して推進**する。
- なお、A I に関しては、経済安全保障の観点の取組も始まることを踏まえ、政府全体として効果的な重点化を図るための関係施策の調整や、量子やバイオ等の戦略的取組とのシナジーを追求すべきことを提示。

差し迫った危機への対処

災害大国である我が国においては、**国家危機への対応基盤づくり**は重要な課題であり、このために下記の目標を掲げて取り組む。

デジタル・ツインの構築

グローバル・ネットワークの強化

サステナビリティ分野でのA I 応用

「責任あるA I」に向けた取組 等

社会実装の推進

大きな利益の創出につなげるため、画像認識、自然言語処理等での広範かつ効果的な活用が期待される**ディープラーニングを重要分野として位置づけ、企業による実装**を念頭に置き、下記の目標を掲げて取り組む。

A I の信頼性の向上

A I 利活用を支えるデータの充実

人材確保等の環境整備

政府におけるA I 利活用の推進

日本が強みを有する分野とA I の融合

「すべてにA I」を目指した着実な取組

「教育改革」や「研究開発体制の再構築」など、我が国のA I 技術力とそれを支える人材を育成し、それを競争力の源泉とした社会の構築に向けた取組を進める。